

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所 准教授 公募
「募集要領」

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、下記のとおり准教授(教育職)の公募を行いますので、広く適任者の推薦、応募を求めます。

1. 公募職種及び人数: 准教授(教育職) 1名
2. 配属予定部署: 宇宙科学研究所 学際科学研究系
3. 職務内容及び求める人物像:

学際科学研究系は、宇宙科学の複数の分野にまたがる、又は宇宙科学と周辺領域にまたがる学際領域、及び新たな宇宙科学分野の学術研究を推進している。具体的には、「宇宙と物質」、「宇宙と生命」を主柱に萌芽的横断的学術研究を推進しており、特に、ISS や観測ロケット、大気球などのサブオービタルやパラボリックフライトを利用する実験、研究に積極的に取り組んでいる。

一方、宇宙科学研究所は、大学共同利用システムの基本として大学・研究所等の研究者の参画を広く求め宇宙科学成果を創出するために、小型飛翔体(観測ロケットおよび大気球)の利用を重要と位置づけ、関連する技術の革新や国際化等によりその利用拡大を進めている。中でも大気球実験は、搭載機器の容積・重量・耐振動強度等に対する制約が観測ロケット実験に比べて緩い。したがって、挑戦的・野心的な天文観測、宇宙線観測や高層大気その場観測、また高度 50 km程度までの高空や希薄大気を実験環境とした工学実証や応用化研究を比較的低コスト、高頻度で実現可能にするために、大気球実験は重要である。さらに、科学観測や工学実験の要請により気球搭載機器は年々高性能化・大型化し、かつ飛翔機会の高頻度化とより長時間の飛翔が求められており、実験場所等の国際的展開は必須である。このような大気球実験に対する高い期待に応えるべく、大気球実験についての国際化を含めた長期的ビジョンの構築とそれを実現していく力量が求められる。

本公募で募集される准教授は、学際科学研究系に所属して自ら気球等を用いた宇宙科学研究を行うこと、大気球実験グループに所属し大気球実験の運用業務を担うと同時に、上記の長期的なビジョンの構築とその実現を主導することを任務としている。これにより、宇宙科学において最先端の成果創出に留まらず、事前実証プロジェクトや挑戦的ミッションの立案の促進そして人材育成を、大気球実験を活用してより強力に進めたい。

このような業務に鑑み、今回募集する准教授は、少なくとも次の条件を満たすものとする。

- (1) 大気球利用により自らの学術研究領域を推進し、当該分野の新しい可能性を開拓する能力と強い意欲を有すること。
- (2) 海外での研究業績または国際共同研究の実績を有していることが望ましく、今後の国際協力においてリーダーシップを発揮する意欲を有すること。
- (3) 大気球実験グループ全体をマネジメントできる実行力を有すること。すなわち、これまでに飛翔体を用いた研究を行った経験は問わないが、一定以上の規模の実験に参画し、実験全体の推進に不可欠な役割を果たした経験を有すること。
- (4) 大学共同利用の機能を有する当研究所の役割を理解し、内外の研究者等と協調して宇宙科学研究所が今

後進める関連分野のプロジェクトの国際調整に貢献できること。

(5) 大学院学生の教育・指導を実施する能力を有すること。

4. 待遇

(1) 給与：能力・経験を考慮の上、機構の規定により決定。

(2) 休日・休暇：完全週休2日制、祝祭日、年末年始、年次有給、夏季、慶弔、産前産後、育児、介護、看護、ボランティア等。

(3) 始業、終業時刻、休憩時間：原則、始業午前9時30分、終業午後5時45分、うち、午後0時15分から午後1時まで休憩時間(ただし専門業務型裁量労働制を適用する)。

(4) 所定労働時間を超える労働の有無：有(ただし、専門業務型裁量労働制を適用し、1日のみなし勤務時間を7時間30分とする)。

(5) 勤務地：相模原キャンパス。

(6) 任期・定年：任期なし。63歳定年制。

(7) 保有・借上宿舍の貸与：機構の規定により業務の必要性を鑑み独身用または世帯用を用意することができる(ただし、同一の宿舍に継続して入居できる期間は7年を限度とする)。もしくは住居手当の支給が可能。

(8) 社会保険：各種社会保険完備(健康保険、厚生年金保険等)

5. 応募資格

博士号を有すること。

6. 着任時期

決定後できるだけ早い時期。ただし、機構の予算状況により、本人との調整を要する場合があります。

7. 提出書類

(1) 履歴書

(2) 研究歴

(3) これまでの研究概要

(4) 論文リスト

(5) 今後の研究計画(自身の大気球を用いた宇宙科学研究および教育活動についての抱負を含む)

(6) 「3. 職務内容及び求める人物像」に記載した観点に留意し、今後の大気球実験について国際化を含めた長期的ビジョンとそれを実現していく方策についての応募者自身の見解

(7) 外部研究資金獲得実績(外部資金の種別、金額、研究代表/分担を明記すること)

(8) 他薦の場合は推薦書を提出することのできる方2名、自薦の場合は本人について意見を述べることのできる方2名の氏名と所属、連絡先(電話番号、電子メールアドレス)

(9) 主要論文の別刷り 5編以内(査読付き学術誌に掲載されたものに限る)

8. 提出方法

下記 Web サイトから電子的方法により提出してください。

<https://isas-appli-form.jaxa.jp/forms1/1522922922>

提出にあたっては、上記 web サイト上の指示に従って下さい。

アップロードしていただくファイルは全て PDF 形式となります。特に、提出書類(2)から(7)は一つの PDF ファイルにまとめていただきます。

他薦の場合、推薦者にて直接、推薦書の Web サイトへのアップロードをお願いすることになります。(入力いただいた推薦者のメールアドレスあてに依頼メールが自動送付されます)

なお、郵送又は持参での提出は、原則として受理できません。

9. 応募締め切り

Web 入力及び(「他薦」の場合は推薦者による「推薦書」を含む)全ての必要書類提出について

2018 年 7 月 2 日(月) 9 時 30 分(日本時間)必着

10. 問い合わせ先

宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所

学際科学研究系主幹 稲富 裕光

電話: 050-3362-5180 E-mail: inatomi@isas.jaxa.jp

ただし、上記「8. 提出方法」に関する問い合わせ先:

科学推進部人事担当

電話: 050-3362-2695 E-mail: ISAS-JINJI@ml.jaxa.jp

11. その他

選考は宇宙科学研究所宇宙科学運営協議会にて行います。なお、本公募は3名以上の応募により成立し、2名以下の応募の場合は再公募します。

また、選考に伴い発生する交通費・宿泊費については自己負担になります。

宇宙科学研究所は、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

<個人情報の利用目的について>

宇宙航空研究開発機構の職員の公募に関連して提供された個人情報については、採用選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き全ての個人情報を責任を持って破棄・消去いたします。